

第18回 網走開発建設部 総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成27年2月26日(木) 網走開発建設部 第1会議室	
委員	高橋 清(北見工業大学教授)、三上 修一(北見工業大学教授) 渡邊 康玄(北見工業大学教授) (五十音順)	
議事	<p>1. 平成26年下期総合評価落札方式(工事・業務)の実施状況について</p> <p>2. 個別審査</p> <p>工事の審査について</p> <p>①旭川紋別自動車道 遠軽町 瀬戸瀬川橋上部工事(施工能力評価型I型)</p> <p>②ウトロ漁港取水施設基礎工事(施工能力評価型I型)</p> <p>業務の審査について</p> <p>③網走川下流部特殊堤補修詳細設計外業務(簡易公募・総合評価簡易型)</p> <p>④北見地区 施設長寿命化計画策定等業務(簡易公募型プロポーザル)</p>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意見・質問	説明・回答	
<p>1 平成26年下期総合評価落札方式(工事・業務)の実施状況</p> <p>対象工事の内、評価点順位が下位でも価格点が1位の会社が落札している工事が4割程度あるが、その要因は何か。</p> <p>2 個別審査</p> <p>①旭川紋別自動車道 遠軽町 瀬戸瀬川橋上部工事(施工能力評価型I型)</p> <p>本工事は、企業の新規参入を促すための試行として、評価項目を施工計画のみ(企業・技術者の施工実績・経験、成績、表彰等は対象外)としているが、同種工事の実績が多い会社が優位になることはないのか。</p> <p>施工計画の評価方法について、提案項目毎に評価出来る提案が複数ある場合はどうしているのか。</p> <p>②ウトロ漁港取水施設基礎工事(施工能力評価型I型)</p> <p>本工事は、若手技術者育成型の試行工事となっているが、それは評価方法のどこに反映されているのか。</p>	<p>評価点上位者との点差が小さい場合、価格点が1位であることにより、両方合わせた評価値が1位になるケースが生じることなどが考えられる。</p> <p>例えば、F社は受注実績が多くはない会社であるが、評価点は入札参加者の中で一番高い点数の3社の内の1社となっており、入札無効がなければ結果に影響がでたかもしれない。</p> <p>試行工事であることを勘案し、最も優位な提案を評価している。</p> <p>技術者の評価項目を資格、CPD及び施工管理能力のみとし、実績、成績及び表彰で差を付けていない。</p> <p>なお、技術者の工事实績を求めない代わりに、「留意事項」の様式に配置予定技術者に対する企業のバックアップ体制を記載してもらっており、それを特別契約書として、契約後の履行確</p>	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<p>バックアップ体制を積極的に進める会社を支援することは、若手技術者を育成する1つの方法として、よい取り組みであると思う。</p> <p>さらに、もう少し別の観点からも、新規採用者が現場に入って経験を積んでいけるようにする手法が必要になってくると思われる。</p> <p>③網走川下流部特殊堤補修詳細設計外業務（簡易公募・総合評価簡易型）</p> <p>技術提案書の実施方針等に係る「その他」の評価について、E社は「有益な提案及び重要事項の指摘」及び「評価に該当しない」の両方に該当しないため、B評価としているのか。</p> <p>④北見地区 施設長寿命化計画策定等業務（簡易公募型プロポーザル）</p> <p>施設長寿命化計画策定は、これまでと考え方を変えて、国営施設の予防保全的な管理をしようとしてスタートしたと考えてよいのか。</p> <p>また、その対象はすべての国営施設なのか。</p>	<p>認対象としている。</p> <p>建設業協会などと意見交換を行い、若手育成に役立つ方法等を話し合い、評価方法の改善を図りながら、試行を続けていきたい。</p> <p>有益な提案「護岸背面の空洞調査」は、業務目的と関連性はあるが合致しておらず、重要事項の指摘「保護工試験体位置での外力測定」は仕様書に記載（実施する場合は設計変更対象とする旨）されており、A評価には至らずB評価としている。</p> <p>10年程前から、それまでの施設が壊れてから直す全増全廃的な対応から、トータルコストを勘案したシナリオ（いつの時点で、どういう工法で、どこまで直すとの程度機能回復するか）を策定して予防保全的な対応を行うこととしている。</p> <p>対象は、一定規模以上のすべての施設であり、本業務では北見地区で造成した施設を対象としている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>